

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～つる枯病～

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠

【つる枯病(Didymella bryoniae)】

主に葉、茎に発生するが、果実に発生することもある。茎では地際部付近の節に発生しやすく、淡褐色の水浸状病斑を形成し、ひび割れる。ヤニを出しながら徐々に拡大し、乾くと赤褐色になる。葉では円形～楕円形、不整形の褐色病斑を生じ、葉裏の葉脈も茶褐色水浸状の病斑で裂け目を生じる。いずれも病斑上に黒色小粒点を形成する。灌水過多で被害が助長されることが多い。



【アブラムシ類】

体色は黄色・緑色・黒色など様々で、春～秋まで10回以上発生、寒い地方では卵で越冬するが、暖地では単為生殖を続ける。25℃では1週間程度で成虫となり、1頭あたり100頭近く産卵する。無翅が多いが、高密度になると有翅の個体が現れ、他の場所へ移動する。5～6月に多発し、夏は少ない。ワタアブラムシが新梢で多発すると、葉が内側に巻いて丸くなる。吸汁して糖分を含む液体を排出するため、多発すると排泄物の上にすす病が発生する。吸汁時にウイルスを媒介することもあり、スイカモザイク病を媒介する。



病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
UN, M03	疫病・褐斑細菌病・炭疽病 つる枯病・べと病	ジマンダイセン水和剤	○	—	400～600倍	7日前	7回	3日
M04	炭疽病・つる枯病・べと病	オーソサイド水和剤80	○	—	600倍 (炭疽病:400～800倍)	14日前	5回	1日
M03	炭疽病・つる枯病	アントラコール顆粒水和剤	○	—	400～600倍	前日	4回	—
M07, 53	うどんこ病・つる枯病	フセキワイドフロアブル	○	○	1000倍	前日	4回	0日

害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 ミツバチ
23	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	モベントフロアブル	2000倍	前日	3回	1日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	1000～2000倍 (アブラムシ類:2000倍)	前日	3回	10日
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	500～1000倍	前日	3回	14日
30	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類・ハスモンヨトウ ハマグリバエ類・ウリノメカイ・オオカバコガ	グレーシア乳剤	2000倍	前日	2回	1日

酷暑に打ち克つ
ヒートインパクト

Heat Impact
ヒートインパクト

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策
- ◆ 果菜類の糖度・肥大不足に!

果菜類・葉菜類使用例
1000倍 100ml/10a
本葉展開後～収穫前 2～3回 葉面散布

フルボデイ NPK 8-5-5

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化
海藻抽出成分配合→根張りを良くして苗質を向上

↓

定植ストレス軽減・細根の発生促進!

育苗・定植前 1000～2000倍 灌注・どぶ漬け